

## II GSM

# (Genitourinary Syndrome of Menopause) ～閉経関連尿路生殖器症候群～ 患者の舌診に関する検討

女性医療クリニックLUNAネクストステージ<sup>1)</sup>

女性医療クリニックLUNA 横浜元町<sup>2)</sup>

女性医療クリニックLUNA 心斎橋<sup>3)</sup>

関口 由紀<sup>1)</sup>、中村 綾子<sup>1)</sup>、槍沢 ゆかり<sup>2)</sup>、藤崎 章子<sup>1)</sup>  
金子 容子<sup>2)</sup>、永井 美江<sup>2)</sup>、中村 仁美<sup>1)</sup>、二宮 典子<sup>3)</sup>

### 【はじめに】

2014年から提唱されている概念が、Genitourinary Syndrome of Menopause (GSM・閉経関連尿路生殖器症候群)である。閉経に伴う外陰・膣の萎縮変化およびそれに伴う不快な身体症状で、中年以上の半数以上の女性が影響されているとされる。GSM症状としては、膣乾燥感・性交時の潤い不足・性交時不快感・膣と外陰のムズムズ/灼熱感/掻痒・頻尿・尿意切迫感・再発性膀胱炎等がある。外陰部の所見としては、尿道口の円形化、膣前庭部の乾燥、小陰唇の短縮などが認められる。治療は、性ホルモンの局所投与やレーザー治療である。今回GSM患者の舌に関して、漢方的な観察を加えたので、報告する。

### 【方法】

2019年10月～11月の約1か月の間に、女性医療クリニックLUNAネクストステージで、GSM治療をおこなった女性患者、20名(55歳～80歳)に関して、舌診を行った。評価は、一般的に健康と言われている舌の条件(①淡紅色、②うすい白苔、③舌苔は湿潤、舌苔の剥離なし、⑤歯痕なし、⑥異形舌裏絡脈なし)を持っているかで判定した。

### 【結果】

健康と言われている舌の条件を満たしたのは、以下の割合だった。

①70%、②75%、③15%、④70%、⑤70%、⑥80%。

### 【考察】

GSM患者の舌の所見は、乾燥舌が明らかに多く、他の異常所見割合は、閉経前の女性の舌の比べると低い傾向にあった。乾燥舌があった場合は、補腎剤の追加投与や外陰部のケアが重要であると考えられた。